

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	美術Ⅲ	2	選択	文系	3

教科書（発行所）	高校生の美術3（日本文教出版）
教科書以外の教材	アクリル絵の具、スケッチブック、油彩セット

目 標	<p>1 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。</p> <p>2 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>3 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>				
	学期	学習事項	学習内容	考查等	
学習計画	1 学期	オリエンテーション	オリエンテーション 「社会との関わり」という観点から教科書の作品を鑑賞し、美術の働きについて考える。	提出物点検	
		基礎描写	対象を見つめることや、画材についての基礎知識、形と明暗などについて、再度復習する。 制作活動、鑑賞	提出物点検 中間作品 期末作品	
		課題制作	これまでの制作活動をもとに、課題を見つけ解決すべきテーマを設定し、制作する。	提出物点検	
	2 学期	課題制作	制作活動、鑑賞	提出物点検 中間作品 期末作品	
3 学期	まとめ	高等学校3年間の美術の集大成として、自らの学びを、ふりかえりまとめる。	提出物点検		
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<p>1 実技作品は完成まで責任をもって取り組もう。自分以外、その作品を完成させることは出来ません。</p> <p>2 作品の制作過程、鑑賞活動も重視します。いかに興味を持って取り組み、自分なりの工夫をしたかが大切です。</p> <p>3 移動教室のため、遅刻をしないように時間に余裕を持って行動すること。</p> <p>4 美術の基礎的内容を学び、その魅力を理解し、生涯にわたって美術を愛好することが出来るようになります。</p>				

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査は行わず、上記の3観点を元にして総合的に評価します。		